

# 事業概要シート

施策 0202 小・中学校教育の充実

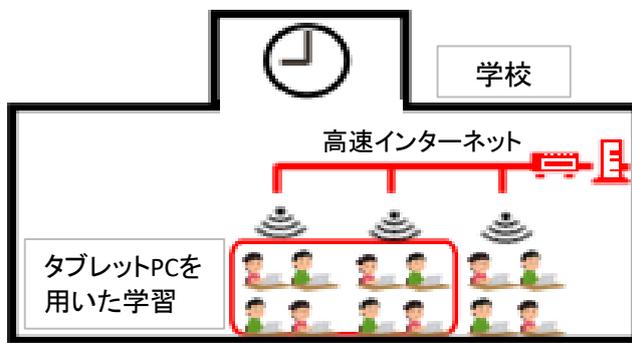
《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計  
 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く  
 ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く

事業名	中学校教育ICT環境整備事業	その他の見直し	予算額	27,812 千円
			《	27,970》千円
事業期間	令和4年度 ~		財源内訳	国庫支出金 772 千円
				県支出金 千円
				地方債 千円
根拠法令 要綱等				その他 3,176 千円
				一般財源 23,864 千円

【事業の目的・概要・対象】

- 対象者 市内の中学校6校の生徒及び教職員
- 目的 教育におけるICTを基盤とした先端技術等の効果的な活用を行うため、市内公立の小・中学校の全児童生徒に1台ずつタブレットPCを導入するなど、多様な子どもたちを誰一人取り残す事のない、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境の実現を図る。
- 事業概要 教育ICT環境が最適な状態で使用できるよう高速通信ネットワーク環境を整備するとともに、全児童生徒へ1人1台端末を整備する。  
整備した教育ICT環境を持続するために、維持・改善・更新を行う。

GIGAスクール構想イメージ図  
 ・学校内にインターネット環境を整備  
 ・1人1台タブレットPCを整備



【背景】

Society5.0時代を生きる子供たちにとって、教育におけるICTを基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められる一方で、現在の教育ICT環境の整備は遅れており、自治体間の格差も大きい。令和時代のスタンダードな学校像として、全国一律の教育ICT環境整備が急務。このため、1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するとともに、並行してクラウド活用推進、ICT機器の整備調達体制の構築、利活用優良事例の普及、利活用のPDCAサイクル徹底等を進めることで、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる。

担当課	教育委員会 学校教育課	課長	橋口 智秀
担当者	山田 雄大	問合せ先	0957-53-4111(内線379)

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	R6 (計画)
①	生徒数に対するタブレットPCの整備率	目標値 %	100	100	100	100	100
②	1日のうちタブレットを用いた授業時間	目標値 時間	0	1	2	3	3

### 【成果指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	R6 (計画)
①		計画値					
②		計画値					

### 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
事業費	182,979	27,970	27,812	27,812	27,812	27,812	322,197
国庫支出金	120,089		772				120,861
県支出金							0
地方債	22,900						22,900
その他			3,176				3,176
一般財源	39,990	27,970	23,864	27,812	27,812	27,812	175,260
人件費	3,472	3,636	3,636	3,636	3,636	3,636	21,652
職員(人)	0.45人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	2.95人
時間外勤務(h)	100h						100h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	186,451	31,606	31,448	31,448	31,448	31,448	343,849

妥当性 (市の関与)	GIGAスクール構想の事業主体は各地方自治体の学校設置者となっているため、学校設置者が整備する必要がある。
有効性 (施策貢献度)	情報社会の発展などの社会の変化を踏まえた特色のある教育活動である。
効率性 (コスト)	タブレットの整備については長崎県全体で共同調達を行い、最小限の費用で事業を実施している。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり